



中学1年生女子の保護者の方へ

杉並保健所からのお知らせ



中学入学お祝いワクチン

～子宮頸がんから命を守るワクチンをプレゼント～

子宮頸がんは、若い女性に増えており、ウイルスの感染が原因でおこる病気です。年間15,000人が発症し、3,500人が死亡していると言われています。

この子宮頸がんを予防するワクチンが、平成21年12月に販売開始となったのをうけ、区では、中学1年生の女子(平成9年4月2日～平成10年4月1日生まれ)を対象に、子宮頸がんワクチン接種費用の全額助成を行います。

接種対象者には、保護者宛に7月中旬、「予防接種予診票」、「予防接種のお知らせ」、「指定医療機関名簿」等を郵送いたします。

予防接種予診票等が届きましたら、指定医療機関で予約し予防接種をお受けください。

子宮頸がんの予防接種は6ヶ月の間に3回接種します。初回の予防接種は、中学1年生(平成23年3月まで)の間に接種していただきます。

★ 助成制度開始前に子宮頸がんワクチンの予防接種を行った場合は、助成の対象になりませんので、ご注意ください。

子宮頸がんは、ワクチン接種と検診で早期発見することで、ほぼ100%死亡を防げます。別紙のリーフレットをお読みください。

区では予防接種開始にあたり、子宮頸がんやワクチン接種、効果、副作用についてなど、保護者向けの講演会を別紙のとおり行います。ぜひご参加ください。

問い合わせ先：杉並保健所 健康推進課

住所 杉並区荻窪5-20-1

TEL 03-3391-1015

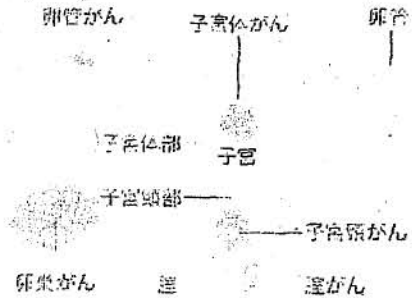
けい 子宮頸がんから命を守ろう

子宮頸がんは、どんな病気？

子宮頸がんとは、子宮頸部（子宮の入り口付近）にできるがんです。以前は40歳以上が大半でしたが、今は、20歳～30歳代で増えています。

子宮頸がんの初期は自覚症状がほとんどないため、しばしば発見が遅れてしまいます。

子宮頸がんが進行した場合は、大きな手術となり、妊娠・出産が望めなくなることもあります。



子宮頸がんの原因はウイルスなの？

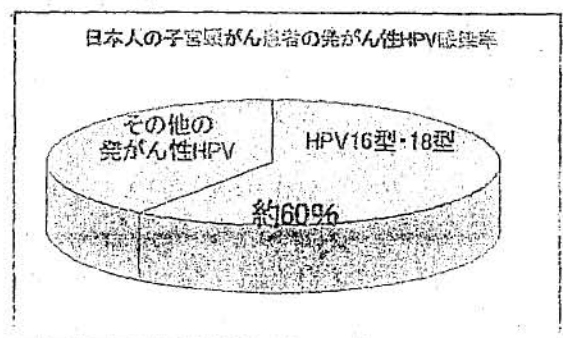
子宮頸がんはHPV（ヒトパピローマウイルス）の感染が原因です。

HPVは皮膚や粘膜に存在するごくありふれたウイルスで100種類以上の型があります。子宮頸がんになるのは、そのうち15種類で「発がん性HPV」と呼ばれています。HPVの感染は主に性交渉で起こりますが、特別なことではなく、性経験のある人なら誰でも感染します。

発がん性HPVに感染しても、多くの場合、感染は一時的でウイルスは自然に排除されます。しかし、長い間感染が持続すると子宮がんを発症する場合があります。また、感染の機会があれば、繰り返し感染する可能性があります。

感染しても、子宮頸がんになるのは、ごく一部の人です。

発がん性HPVのうち約60パーセントをしめると言われている16型・18型を予防するワクチンがあります。このワクチンを性経験が無いうちに接種することで、HPV16型・18型の子宮頸がんを、ほぼ100%予防することができます。特に、HPV16型・18型はその他の発がん性HPVに比べてがんになりやすく、進行が早いといわれています。



ワクチンの接種方法・間隔について

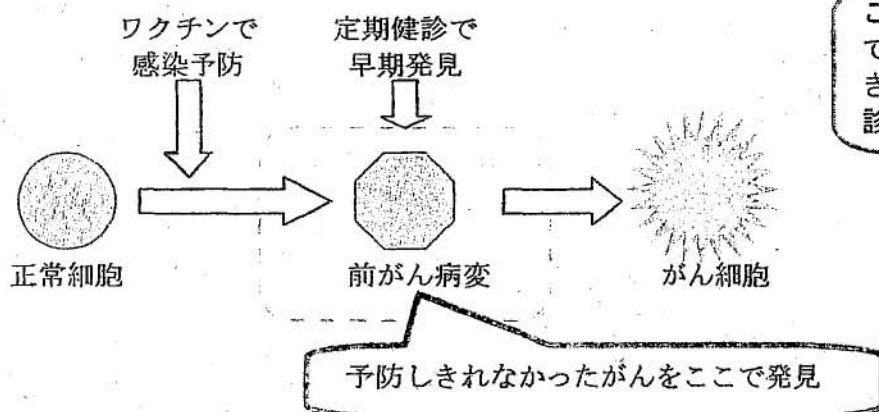
ワクチンは、半年の間に合計3回接種します。(初回、1ヵ月後、6ヵ月後)3回接種することで、十分な効き目が得られます。ワクチンは、肩に近い腕の筋肉に接種します。

予防接種と定期的な検診で命を守ろう

子宮頸がんを予防するワクチンは、16型・18型を予防しますが、その他の発がん性HPVは残念ながら防ぐことはできません。

そのため、20歳になったら子宮頸がん検診を受ける必要があります。定期的ながん検診を受けることで、早期のうちに発見ができ、子宮のほとんどを残すことができ、妊娠・出産も可能です。

ワクチンと子宮頸がん検診をあわせて行うことで、ほぼ100パーセント死亡をふせげます。



これからは、中学生で予防接種・20歳過ぎたら子宮頸がん検診!! だね。



母親の皆さん、子宮頸がん検診を受けていますか？
杉並区では2年に1度、自己負担1,000円で子宮頸がん検診を受けることができます。(職場等で受診機会のない方のみ) まだお受けになられたことがない方、今回を機会にお受けください。

【申し込み方法】

ハガキに右の内容を記入して健康推進課へ。

ハガキの書き方

子宮がん検診希望

住所

氏名

生年月日

年齢

電話番号

【申し込み・問合せ先】 167-0051

杉並区荻窪5-20-1 杉並保健所 健康推進課

03(3391)1015

子供と一緒に考えよう 子宮頸がんは予防できる

子宮頸がんは、子宮の入り口にできるがんで、「HPV(ヒトパピローマウイルス)」の感染が原因です。国内では、年間約15,000人が発症し、約3,500人が死亡していると言われています。区では、中学1年生の女子を対象に子宮頸がんの予防接種費用の助成を行います。この機会に、子宮頸がんについて学びましょう。

日時

6月20日(日) 10:00~12:00

講師

対馬ルリ子 先生

ウィミンズ・ウェルネス銀座クリニック院長

☆ 20代で子宮がんになった方の体験談も予定しています。

会場

杉並区立勤労福祉会館 ホール

杉並区桃井4-3-2

定員

300名 (申込順で定員になり次第締め切り)

☆ 申し込みは電話又はFAX(住所・氏名・電話番号を明記)で健康推進課へ。

電話 03(3391)1015 FAX 03(3391)1927

女子中学生の保護者・区民

対馬ルリ子先生プロフィール



講師プロフィール: 周産期学、ウィミンズヘルスが専門。弘前大学医学部卒業後、東京大学医学部産婦人科学教室入局、都立墨東病院周産期センター産婦人科医長などを経て、2002年にウィミンズ・ウェルネス銀座クリニックを開院。

2003年には、女性の心と体、社会とのかかわりを総合的に捉え、健康維持を助ける医療(女性外来)をすすめる会「女性医療ネットワーク」を設立、全国230名の女性外来医師・女性医療者と連携して活動している。

無 料

杉並区立勤労福祉会館 ホール
杉並区桃井4-3-2

車での来場はご遠慮ください。

- JR 中央線西荻窪駅から徒歩 15 分
- 西荻窪駅北口からバス（井荻駅行きまたは荻窪駅行き）桃井四丁目下車
- 荻窪駅北口からバス（0 番・1 番乗り場から乗車）桃井四丁目下車
- 西武新宿線井荻駅からバス（西荻窪駅行き）桃井四丁目下車

